

2026年4－6月

APR
4

レスリング部

ご寄付やスポンサー支援、物品支援等、
本学運動部へのご支援よろしくお願いいたします。
連絡先： ml_tsc@toyo.jp



Youtube



Instagram

2026年度ジュニアクィーンズカップにおいて小岩 芽以選手が優勝！ 他、多数の選手が入賞しました

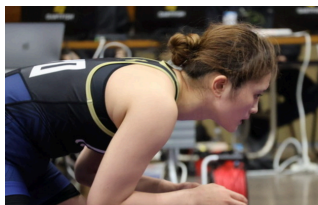
4月11日（日）～12日（月）に東京武道館（東京都足立区）で開催されたJOCジュニアオリンピックカップ2026年度ジュニアクィーンズカップ・レスリング選手権大会において、小岩 芽以選手（健康スポーツ科学部1年）が優勝した他、多数の選手が入賞しました。また、小岩選手が2026 U20世界選手権大会（2026年8月・スロバキア）、吉川選手が2026 U20アジア選手権大会（2026年6月・タイ）の代表に内定しました。

【U20の部】

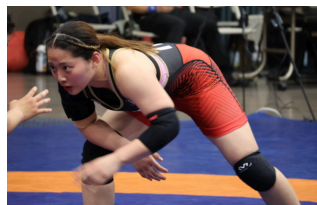
53kg級 優勝 小岩 芽以（健康スポーツ科学部1年）
62kg級 2位 吉川 華奈（健康スポーツ科学部1年）
65kg級 3位 菱沼 綾南（健康スポーツ科学部2年）

【U23の部】

59kg級 2位 太田 早也香（経済学部3年）



太田選手



菱沼選手



左：小岩選手 右：吉川選手

MAY
5

陸上競技部 短距離部門

「ボツワナ2026世界リレー」日本代表選手団に平川 慧選手と卒業生5名が選ばれました

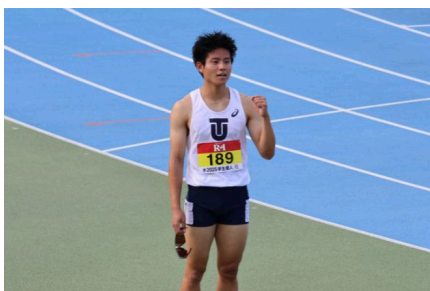
2026年5月2日（土）～3日（日）にボツワナ・ハボローネで開催される「ボツワナ2026世界リレー」に派遣される日本代表選手16名が決定し、本学から在学生の平川 慧選手（ひらかわ きら／健康スポーツ科学部 3年）と卒業生5名が選ばれました。

【在学生】

平川 慧 選手（健康スポーツ科学部 3年）
男子4x400mリレー、男女混合4x400mリレー

【卒業生】

桐生 祥秀 選手（法学部・2018年3月卒業／日本生命所属）
男子4x100mリレー
柳田 大輝 選手（文学部・2026年3月卒業／Honda所属）
男子4x100mリレー
中島 佑気ジョセフ 選手（総合情報学部・2024年3月卒業／富士通所属）
男子4x400mリレー、男女混合4x400mリレー
吉津 拓歩 選手（ライフデザイン学部・2021年3月卒業／ミキハウス所属）
男子4x400mリレー、男女混合4x400mリレー
鈴木 碧斗 選手（法学部・2024年3月卒業／住友電工所属）
男子4x400mリレー、男女混合4x400mリレー



写真提供：東洋大学スポーツ新聞編集部

高橋 輝選手が2026/27シーズン横浜F・マリノスへの加入が内定しました

サッカー部（男子部門）に所属する高橋 輝選手（国際観光学部4年）が、2026/27シーズン（2027年1月）より横浜F・マリノスに加入することが内定いたしました。
あわせて、JFA・Jリーグ特別指定選手として（公財）日本サッカー協会より認定されました。



【高橋選手のコメント】

このたび、2027年より、横浜F・マリノスに加入することになりました、東洋大学の高橋 輝です。
まずはじめに、大好きなサッカーに没頭できる環境をつくってくれて、支え続けてくれた家族、人間性やサッカー面での成長をサポートしてくださった指導者の方々、サッカーを通じてできた仲間、応援してくれる友人など、これまで自分の人生に関わってくださったすべての皆さまのおかげで今の自分があります。
本当にありがとうございます。
幼い頃、Jリーグの試合を観戦した時に、大観衆の中でゴールを決めるプロサッカー選手たちに憧れました。そして、そこからずっと抱いていたプロサッカー選手になりたいという想いを、横浜F・マリノスという素晴らしいクラブで実現できることに大きな喜びを感じております。横浜F・マリノスのエンブレムを背負うからには覚悟と責任を持ち、どんな時も満足せず諦めず、謙虚にひたむきに頑張ります。横浜F・マリノスに関わるすべての皆さま、これからよろしくお願いいたします。

全日本大学駅伝（11月1日開催）への出場が決まりました！

2026年5月4日（月・祝）レモンガススタジアム平塚（神奈川県）で開催された「秩父宮賜杯第58回全日本大学駅伝対校選手権大会 関東学生陸上競技連盟推薦校選考会（全日本大学駅伝関東地区選考会）」に出場した陸上競技部長距離部門は、総合5位（総合タイム3時間58分51秒88）の結果で2大会ぶりに本大会への出場を決めました。

「2025-2026年JFA・WEリーグ特別指定選手」の松浦選手（INAC神戸レオネッサ所属）がリーグの優勝に貢献！

「2025-2026年JFA・WEリーグ特別指定選手」として認定されている本学サッカー部（女子部門）の松浦 加奈選手（食環境科学部3年）が所属するINAC神戸レオネッサが、2026年5月3日（日・祝）に4シーズンぶり2度目のWEリーグ優勝を勝ち取りました。

【松浦選手のコメント】

この度、WEリーグで優勝することができました。
シーズン途中からの加入となりましたが、温かく受け入れていただき、INACという素晴らしいクラブの一員として優勝という目標に向かい、その目標を成し遂げられたことを大変嬉しく思います。
チームメイト、スタッフ、ファン・サポーターの皆さまとともに素晴らしい景色を見ることができ、最高の瞬間を味わうことができました。
また、大学をはじめ、多くの方々の支えに感謝しています。
この先、大学でも必ず日本一を掴み取れるよう頑張りますので、これからも熱い応援をよろしくお願いいたします！



写真提供：INAC神戸レオネッサ

2026年・関東学生新人選手権大会〔女子ダブルス〕土肥選手と西岡選手のペアが優勝！

2026年5月4日（月・祝）～6日（水・祝）に東京・駒沢体育館で開催された「2026年関東学生新人選手権大会」の〔女子ダブルス〕で、土肥 千依菜選手と西岡 緩夏選手（ともに健康スポーツ科学部1年）のペアが優勝を飾りました。

【土肥選手のコメント】

今回は東洋大学として新人戦でダブルス優勝とシングルスベスト8と良い成績を残せて、とても嬉しいです。これからもっと頑張っていき、少しでも貢献できるようにしたいです。また、このような結果は日頃から支えてくださっている方々のおかげです。感謝を忘れず一生懸命に取り組んでいきたいと思います。

【西岡選手のコメント】

関東学生新人卓球大会において、優勝という結果を残すことができ嬉しいです。ただ優勝出来たことに満足せずこれから試合が続くので日々の努力を忘れず、チームに貢献できる存在になれるように頑張りたいです。



左：土肥選手 右：西岡選手



写真提供：東洋大学スポーツ新聞編集部

OBの若隆景関が2度目の幕内優勝！一大相撲令和八年五月場所一

2026年5月10日（日）～24日（日）両国国技館にて開催された「令和八年大相撲五月場所」にて本学卒業生で相撲部OBの若隆景関（大波 渥さん／2017年法学部企業法学科卒業）が令和四年三月場所以来2度目の幕内優勝を成し遂げるとともに、7回目となる「技能賞」を受賞しました。また、今場所においても幕内で御嶽海関、十両で東白龍関や羽出山関をはじめ、本学出身力士が奮闘しました。

【荒木関 賢悟監督のコメント】

今場所の若隆景関の優勝、また御嶽海関の勝ち越し等、本学OBの活躍を大変嬉しく思います。学生時代ともに汗を流し、目標に向かって活動してきた先輩方が、このような素晴らしい成果を成し遂げたことに感動し、誇らしい限りです。現役学生たちにとっても大きな励みになり、今後の大会に向けてチームも活気づくことと思います。先輩の活躍に負けぬよう、まずは6月に開催される東日本学生相撲選手権での団体優勝を目指し、奮闘してまいります。

第62回全国選抜大学・実業団対抗相撲和歌山大会にて団体優勝！

5月31日（日）に和歌山県・県営相撲場で開催された「第62回全国選抜大学・実業団対抗相撲和歌山大会」において、団体優勝を収めました。

個人戦では、麻田 遥人選手（法学部1年）が準優勝を収めました。

【主将 奥田 史祐選手(文学部 4年)コメント】

予選では取りこぼしがあり、同点決勝からの勝ち上がりという厳しい展開でしたが、決勝トーナメントでは着実に白星を重ね優勝することができました。今後も主将として、部員一人ひとりの力を引き出し、さらに強いチームを作っていきます。この勢いのまま、東日本学生相撲選手権をはじめ、5人制団体でも一つでも多く優勝を勝ち取れるよう、チーム一丸となってこれからも頑張っていきます。



【麻田 遥人選手（法学部1年）コメント】

1年生らしく、失うものは何もないという気持ちで、思い切ってぶつかった結果が、2位に繋がったのだと思います。あと一歩で優勝を逃したことを悔しく思います。この経験が無駄にせず、次は必ず優勝できるよう、日々の稽古に励みます。応援いただき、ありがとうございました。

【荒木関 賢悟監督のコメント】

今大会は大学・実業団の強豪が集まる厳しい戦いでしたが、シーズン序盤からの課題を克服し、選手たちが一戦ごとに結束力を高めてくれたことが団体優勝に繋がりました。また、個人戦においても、1年生の麻田選手が準優勝という素晴らしい成績を収めてくれました。あと一歩で優勝だったという悔しさは残るものの、全国の強豪を相手に堂々たる相撲を取り、チームの優勝に大きく貢献してくれたことを頼もしく思います。ようやく今季最初の栄冠を手にすることができましたが、私たちの目標はさらにその先にあります。この勢いのまま次戦に臨み、再び頂点に立てるよう、一層の稽古に励んでまいります。今後とも変わらぬご声援をよろしくお願い申し上げます。

アイススケート部
ホッケー部門

2026年秩父宮杯第73回関東大学アイスホッケー選手権大会で優勝しました！

5月6日（水）～31日（日）にかけてダイードリンコアイスアリーナ（東京都西東京市）で行われた関東大学アイスホッケーリーグ戦において、5月31日の最終戦で中央大学に6-0で勝利し、アイススケート部ホッケー部門は優勝を収めました。



また、高田 麟選手（DF＝健康スポーツ科学部4年）が最優秀選手賞、岸部 彪冴選手（DF＝健康スポーツ科学部1年）が最優秀新人賞を受賞しました。



高田 麟選手



岸部 彪冴選手

ベストシックス（大会終了後に選出される大会を通じて最も優れた活躍をした6名の選手）として本学の選手が5名選出されました。

チョイ スフン選手（GK＝健康スポーツ科学部2年）
高橋 一路選手（DF＝健康スポーツ科学部4年）
三浦 彪我選手（FW＝健康スポーツ科学部2年）
田中 蘭李斗選手（FW＝健康スポーツ科学部3年）
大久保 魁斗選手（FW＝健康スポーツ科学部3年）

水泳部

第102回日本選手権水泳競技大会～ジャパンスイム2026～の結果について

2026年6月3日（水）～7日（日）、東京アクアティクスセンターで開催された「第102回日本選手権水泳競技大会」に出場した本学水泳部の選手が各種目で奮闘しました。

【競技結果（決勝：1位～3位）】

- 男子 400m自由形
2位 西川 我咲選手（経営学部2年）3:47.10
- 男子 800m自由形
3位 西川 我咲選手（経営学部2年）7:54.26
- 女子 50m背泳ぎ
1位 佐々木 美莉選手（健康スポーツ科学部3年）28.03
- 男子 100m背泳ぎ
1位 竹原 秀一選手（健康スポーツ科学部4年）53.85
- 女子 100m背泳ぎ
1位 佐々木 美莉選手（健康スポーツ科学部3年）1:00.25
- 男子 200m背泳ぎ
2位 竹原 秀一選手（健康スポーツ科学部4年）1:55.80
- 男子 200m個人メドレー
1位 松下 知之選手（国際観光学部3年）1:57.28
2位 牧野 航介選手（経営学部4年）1:57.32
- 男子 400m個人メドレー
1位 西川 我咲選手（経営学部2年）4:08.66

サッカー部
男子部門

中村 琉聖選手が2027年より横浜FCへの加入が内定しました

サッカー部（男子部門）に所属する中村 琉聖選手（国際観光学部4年）が、2027年より横浜FCへの加入が内定いたしました。

【中村 琉聖選手のコメント】

この度、2027年より横浜FCに加入することになりました、東洋大学の中村 琉聖です。まず初めに、ここまで支えてくれた両親をはじめ、これまでご指導してくださった指導者の皆様、そして日々切磋琢磨してきた仲間たちに、心から感謝しています。自分は小学5年生の強化カテゴリーからユースまで、横浜FCのアカデミーで育ってきました。幼い頃からの夢であったプロサッカー選手になるという目標を、育ててもらったこのクラブで実現できることを大変嬉しく思います。そして、再び横浜FCのエンブレムを背負い、戦えることに大きな誇りと責任を感じています。これまでお世話になったクラブへの感謝を結果で示し、恩返しができるよう、一日でも早く三ツ沢のピッチで躍動する姿をお見せできるように、初心を忘れず、ひたむきに努力し続けます。そして、ファン・サポーターの皆様に愛され、応援していただけるような選手になれるよう、全力で戦います。横浜FCに関わる全ての皆様、よろしくお願いいたします。



東都学生軟式野球連盟春季リーグ戦I部リーグにおいて準優勝を収めました

軟式野球部は、3月2日（月）～6月1日（月）にかけて行われた令和8年度東都学生軟式野球連盟春季リーグ戦I部リーグにおいて7勝3敗で準優勝を収めました。この結果により、8月21日（金）～25日（火）に行われる第49回スポーツ庁長官杯全日本学生軟式野球選手権大会へ出場が決まりました。



【主将 栗原 功佳選手（健康スポーツ科学部3年）のコメント】

春リーグでは2位という結果でしたが、全日本への切符をつかむことができました。チーム全員で積み重ねてきた努力が形になったことを嬉しく思います。全国大会では挑戦者として一戦一戦全力で戦い、去年成し遂げられなかった優勝という形で、東洋大学の名を全国に届けられるよう頑張ります。応援よろしくお願いいたします。



第110回日本陸上競技選手権大会で宮尾真仁選手が優勝など在校生・卒業生が奮闘しました！

6月12日（金）～14日（日）、パロマ瑞穂スタジアム（愛知県）で開催された「第110回日本陸上競技選手権大会」に本学陸上競技部短距離部門の15名が出場したほか、本学卒業生15名も出場しました。

在学生では、「男子三段跳」に出場した宮尾 真仁選手（法学部4年）が決勝ラウンドで優勝（記録：16m64）し、自己最高記録も更新しました。

この結果により、9月開催「愛知・名古屋2026アジア競技大会」の日本代表選手となりました。また、「男子400m」に出場した白畑 健太郎選手（法学部3年）も決勝ラウンドに進み、8位の成績を収めたほか、「男子走幅跳」に出場した藤原 孝輝選手（総合情報学研究科博士前期課程2年）も決勝ラウンドに進み、8位の成績を収めました。

決勝ラウンドに出場した、本学卒業生の結果は以下の通りです。

- 「男子400m」中島 佑気ジョセフ選手（富士通所属）優勝
- 「男子100m」桐生 祥秀選手（日本生命 陸上クラブ所属）3位
- 「男子200m」重谷 大樹選手（グリーンクロス所属）3位
- 「男子三段跳」城崎 滉青選手（GLOBAL ARENA所属）3位
- 「男子走幅跳」津波 響樹選手（大塚製薬陸上競技部所属）3位

ABOUT TSC

TOYOスポーツセンターでは応援文化醸成のため、学生アンバサダーによる情報発信を行っています。学内掲示ポスターをはじめとしてInstagramやYouTubeに試合情報を随時投稿してまいりますのでぜひご覧ください。

Instagram [@toyo_univ](https://www.instagram.com/toyo_univ)
YouTube [@toyosportschannel](https://www.youtube.com/@toyosportschannel)
X [@ToyoUniv_sports](https://twitter.com/ToyoUniv_sports)

